

令和3年度

専攻科学生募集要項
入 学 案 内

独立行政法人 国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

目 次

学生募集要項

I. 募集人員	1
II. 入学者の選抜方法	1
推薦による選抜	2
学力による選抜【前期】	5
学力による選抜【後期】	8
企業等の推薦による社会人選抜	11
III. 受検上又は修学上特別な配慮を必要とする場合	13
IV. 入学手続	13
V. その他の注意事項	13
VI. 個人情報の取扱い	13
入学案内	14

添付書類

1. 専攻科入学願書
2. 照合票・受検票・入学検定料「振込受付証明書」提出票
3. 調査書
4. 推薦書（推薦選抜）
5. 志望調書（推薦選抜）
6. 推薦書（企業等の推薦による社会人選抜）
7. 出願承認書（学力による選抜（企業等所属者のみ））
8. あて名票
9. 振込依頼書

令和 3 年度
久留米工業高等専門学校専攻科
学 生 募 集 要 項

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

久留米高専は次のような人を求めています。

1. 科学技術に対する強い探求心をもち、積極的に取り組む人
2. 専門分野の基礎を修得している人
3. 社会性と倫理観を身に附けている人
4. 基礎的なコミュニケーション能力を身に附けている人

I. 募集人員

機械・電気システム工学専攻 12名
物質工学専攻 8名 計20名

II. 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、高等専門学校長又は学科長の推薦による選抜、学力による選抜（前期・後期）及び企業等の推薦による社会人選抜とし、次の日程で行います。

選 択 区 分	選 択 期 日	選 択 人 数
推 薦 に よ る 選 抜	令和 2 年 7 月 18 日(土)	10 名 程 度
学 力 に よ る 選 抜	前 期	令和 2 年 7 月 18 日(土)
	後 期	令和 2 年 10 月 3 日(土)
企業等の推薦による社会人選抜	令和 2 年 10 月 3 日(土)	若 干 名

推薦による選抜

学位（学士）申請及びJABEE教育プログラム履修（P. 21参照）のため、本校卒業見込以外の受検希望者は、願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

1. 出願資格

令和3年3月に高等専門学校卒業見込みの者で、成績及び人物が優れていると認められる者

2. 出願手続

(1) 願書の受付

- ・期 間 令和2年6月29日(月)から令和2年7月2日(木)まで
- ・時 間 9時から17時まで
- ・場 所 〒830-8555 福岡県久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
電 話 (0942) 35-9463
(0942) 35-9316

※ 郵送の場合も令和2年7月2日(木)17時（必着）とします。

（受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。）

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書類等	摘要
① 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 照合票 受検票 入学検定料「振込受付証明書」提出票	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。
③ 調査書	本校所定の用紙に出身校長が作成し厳封したものです。
④ 推薦書	本校所定の用紙を使用してください。
⑤ 志望調書	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。

⑥ 入学検定料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により志願者本人の氏名で金融機関窓口から振り込んでください。</p> <p>振込期間は、令和2年6月22日(月)から令和2年7月2日(木)までとします。</p> <p>金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。</p> <p>振り込み後、本校所定の「振込依頼書」の場合は「振込受付証明書」(学校提出用)、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は「振替払出請求書預金口座振替による振替受付書」(コピー可)を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。</p> <p>＜注意＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。 2) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。 ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3) 不明な点につきましては、郵便局（ゆうちょ銀行）にお尋ねください。
⑦ あて名票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑧ 受 檢 票 送付用封筒	受検票の郵送を希望する志願者は、定型封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、404円切手(簡易書留郵便物)を貼付して提出してください。
⑨ T O E I C (TOEIC IP 含む。) スコア	T O E I Cスコア及びその取得時期を証明する「公式認定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。 なお、T O E I Cスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。
⑩ そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する住民票の写し(コピー不可)を提出してください。

※ ③及び④の各様式は本校WWWページ (<http://www.kurume-nct.ac.jp/>) の入学案内のページよりダウンロードして使用することも可能

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を = 線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。
- ⑥ 推薦選抜実施日にT O E I Cスコアの照合を行いますので、「公式認定証」又は「個人成績表」の原本を必ず持参してください。なお、T O E I Cスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。

3. 選抜方法

調査書・推薦書等提出された書類をもとに面接を行い、総合的に判定します。

4. 選抜日時及び場所

(1) 日 時：令和2年7月18日(土) 14時開始

(2) 場 所：久留米工業高等専門学校

※ 13時30分までに、本校の指定する場所（当日、学生課前に掲示する予定）に集合してください。

なお、14時以降の遅刻者は、受検を認めません。

5. 選抜結果の発表

令和2年7月28日(火) 10時

合格者の受検番号を本校内に掲示するとともに、全受検者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。

(電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。)

6. 入学確約書の提出

合格通知書を受けた者は、令和2年8月4日(火)17時までに「入学確約書」を学生課教務係へ提出してください。

学力による選抜【前期】

学位（学士）申請及びJABEE教育プログラム履修（P.21参照）のため、本校卒業見込以外の受検希望者は、願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 上記（1）～（6）の他、本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格（4）～（7）で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、必ず願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

2. 出願手続

(1) 願書の受付

- ・期 間 令和2年6月29日(月)～令和2年7月2日(木)まで
・時 間 9時から17時まで
・場 所 〒830-8555 福岡県久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
電 話 (0942) 35-9463
(0942) 35-9316

※ 郵送の場合も令和2年7月2日(木)17時(必着)とします。

(受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。)

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書類等	摘要
① 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 照合票 受検票 入学検定料「振込受付証明書」提出票	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。

③ 調査書	本校所定の用紙に出身学校長が作成し厳封したもの。出願資格(3)により出願する者は、専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了又は見込みであることを証明する証明書を添付してください。
④ 出願承認書	本校所定の用紙を使用し、企業等の所属の長が作成したもの。(企業等所属者のみ)
⑤ 入学検定料	<p>16,500円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により志願者本人の氏名で金融機関窓口から振り込んでください。 振込期間は、令和2年6月22日（月）から令和2年7月2日（木）までとします。 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振り込み後、本校所定の「振込依頼書」の場合は「振込受付証明書」（学校提出用）、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」（コピー可）を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。 <注意> 1) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。 2) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。 ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3) 不明な点につきましては、郵便局（ゆうちょ銀行）にお尋ねください。</p>
⑥ あて名票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑦ 受検票 送付用封筒	受検票の郵送を希望する志願者は、定型封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、404円切手（簡易書留郵便物）を貼付して提出してください。
⑧ TOEIC (TOEIC IP 含む。) スコア	TOEICスコア及びその取得時期を証明する「公式認定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。なお、TOEICスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。
⑨ その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する住民票の写し（コピー不可）を提出してください。

※ ③及び④の各様式は本校WWWページ (<http://www.kurume-nct.ac.jp/>) の入学案内のページよりダウンロードして使用することも可能

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。

- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を = 線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。
- ⑥ 学力検査実施日に TOEIC スコアの照合を行いますので、「公式認定証」又は「個人成績表」の原本を必ず持参してください。なお、TOEIC スコアは選抜期日から 2 年以内に実施された試験のスコアを有効とします。

3. 選抜方法

学力検査の結果、出身（在籍）学校長から提出された調査書等をもとに総合的に判定します。

学力検査の科目

検査科目	専攻	出題分野等	配点
専門	機械・電気システム工学専攻	機械工学系（機械工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） 電気電子工学系（電気電子工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） 制御情報工学系（制御情報工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） ※ 上記 3 系から 1 つの系を出願時に選択	100点
	物質工学専攻	生物応用化学系（生物応用化学に関連した問題 5 問から 4 問選択） 材料工学系（材料工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） ※ 上記 2 系から 1 つの系を出願時に選択	
数学	各専攻共通	一般数学（確率・統計を除く。）	100点
英語	各専攻共通	試験は実施せず、TOEIC スコアに基づく換算得点を用いる。	100点

※ TOEIC スコアは当日持参した原本により確認する。

4. 学力検査の日時・場所

期日	科目等	時間	場所
令和 2 年 7 月 18 日（土）	専門	9 時 10 分～10 時 30 分	久留米工業高等専門学校
	数学	11 時 00 分～12 時 00 分	

※ 検査当日は、8 時 40 分までに、検査場（当日、学生課前に掲示する予定）に集合してください。

5. 選抜結果の発表

令和 2 年 7 月 28 日（火） 10 時

合格者の受検番号を本校内に掲示するとともに、全受検者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。（電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

学力による選抜【後期】

学位（学士）申請及びJABEE教育プログラム履修（P.21参照）のため、本校卒業見込以外の受検希望者は、願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 上記（1）～（6）の他、本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格（4）～（7）で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、必ず願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

2. 出願手続

(1) 願書の受付

- ・期 間 令和2年9月16日（水）～令和2年9月23日（水）まで
・時 間 9時から17時まで
・場 所 〒830-8555 福岡県久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
電 話 (0942) 35-9463
(0942) 35-9316

※ 郵送の場合も令和2年9月23日（水）17時（必着）とします。

（受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。）

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書類等	摘要
① 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 照合票 受検票 入学検定料「振込受付証明書」提出票	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真是、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。

③ 調査書	本校所定の用紙に出身校長が作成し厳封したもの。 出願資格(3)により出願する者は、専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了又は見込みであることを証明する証明書を添付してください。
④ 出願承認書	本校所定の用紙を使用し、企業等の所属の長が作成したもの。(企業等所属者のみ)
⑤ 入学検定料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により志願者本人の氏名で金融機関窓口から振り込んでください。</p> <p>振込期間は、令和2年9月9日（水）から令和2年9月23日（水）までとします。</p> <p>金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。</p> <p>振り込み後、本校所定の「振込依頼書」の場合は「振込受付証明書」（学校提出用）、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」（コピー可）を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。</p> <p><注意></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。郵便局（ゆうちょ銀行）専用の「振込依頼書」に記入が必要です。 2) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3) 不明な点につきましては、郵便局（ゆうちょ銀行）にお尋ねください。
⑥ あて名票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑦ 受検票 送付用封筒	受検票の郵送を希望する志願者は、定型封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、404円切手（簡易書留郵便物）を貼付して提出してください。
⑧ TOEIC (TOEIC IP 含む。) スコア	TOEICスコア及びその取得時期を証明する「公式認定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。なお、TOEICスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。
⑨ その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する住民票の写し（コピー不可）を提出してください。

* ③及び④の各様式は本校WWWページ (<http://www.kurume-nct.ac.jp/>) の入学案内のページよりダウンロードして使用することも可能

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。

- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を = 線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。
- ⑥ 学力検査実施日に TOEIC スコアの照合を行いますので、「公式認定証」又は「個人成績表」の原本を必ず持参してください。なお、TOEIC スコアは選抜期日から 2 年以内に実施された試験のスコアを有効とします。

3. 選抜方法

学力検査の結果、出身（在籍）学校長から提出された調査書等をもとに総合的に判定します。

学力検査の科目

検査科目	専攻	出題分野等	配点
専門	機械・電気システム工学専攻	機械工学系 （機械工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） 電気電子工学系 （電気電子工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） 制御情報工学系 （制御情報工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） ※ 上記 3 系から 1 つの系を出願時に選択	100点
	物質工学専攻	生物応用化学系 （生物応用化学に関連した問題 5 問から 4 問選択） 材料工学系 （材料工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） ※ 上記 2 系から 1 つの系を出願時に選択	
数学	各専攻共通	一般数学（確率・統計を除く。）	100点
英語	各専攻共通	試験は実施せず、TOEIC スコアに基づく換算得点を用いる。	100点

※ TOEIC スコアは当日持参した原本により確認する。

4. 学力検査の日時・場所

期日	科目等	時間	場所
令和 2 年 10月 3 日（土）	専門	9 時 10 分～10 時 30 分	久留米工業高等専門学校
	数学	11 時 00 分～12 時 00 分	

※ 検査当日は、8 時 40 分までに、検査場（当日、学生課前に掲示する予定）に集合してください。

5. 選抜結果の発表

令和 2 年 10 月 9 日（金） 10 時

合格者の受検番号を本校内に掲示するとともに、全受検者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。（電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

企業等の推薦による社会人選抜

学位（学士）申請及びJABEE教育プログラム履修（P. 21参照）のため、受検希望者は、願書受付開始日の1週間前までに本校学生課教務係へ電話などにより照会してください。

1. 出願資格

学力検査による選抜の出願資格（P. 5 参照）のいずれかに該当する者で、企業等の所属の長が勤務成績、人物ともに優れていると認め推薦する者

2. 出願手続

(1) 願書の受付

・期 間 令和2年9月16日（水）～令和2年9月23日（水）まで
・時 間 9時から17時まで
・場 所 〒830-8555 福岡県久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
電話（0942）35-9463
(0942) 35-9316

※ 郵送の場合も令和2年9月23日（水）17時（必着）とします。

（受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。）

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書類等	摘要
① 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 照合票 受検票 入学検定料「振込受付証明書」提出票	本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。
③ 卒業証明書	出身学校長が作成したもの。
④ 成績証明書	出身学校長が作成し厳封したもの。
⑤ 推薦書 (企業等所属者)	本校所定の用紙を使用し、企業等の所属の長が作成したもの。
⑥ 入学検定料	16,500円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により志願者本人の氏名で金融機関窓口から振り込んでください。 振込期間は、令和2年9月9日（水）から令和2年9月23日（水）までとします。 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振り込み後、本校所定の「振込依頼書」の場合は「振込受付証明書」（学校提出用）、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は「振替払出請求

	<p>書預金口座振替による振込受付書」（コピー可）を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。</p> <p>＜注意＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。郵便局（ゆうちょ銀行）専用の「振込依頼書」に記入が必要です。 2) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3) 不明な点につきましては、郵便局（ゆうちょ銀行）にお尋ねください。
⑦ あて名票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑧ 受 檢 票 送付用封筒	受検票の郵送を希望する志願者は、定型封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、404円切手（簡易書留郵便物）を貼付して提出してください。
⑨ T O E I C (TOEIC IP 含む。) ス コ ア	T O E I Cスコア及びその取得時期を証明する「公式認定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。なお、T O E I Cスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。
⑩ そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する住民票の写し（コピー不可）を提出してください。

※ ⑤の様式は本校WWWページ (<http://www.kurume-nct.ac.jp/>) の入学案内のページよりダウンロードして使用することも可能

（4）出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を = 線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。
- ⑥ 社会人選抜実施日にT O E I Cスコアの照合を行いますので、「公式認定証」又は「個人成績表」の原本を必ず持参してください。なお、T O E I Cスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。

3. 選 抜 方 法

成績証明書・推薦書等提出された書類をもとに面接を行い、総合的に判定します。

4. 選 抜 日 時 及 び 場 所

- (1) 日 時：令和2年10月3日（土） 14時開始
- (2) 場 所：久留米工業高等専門学校

※ 13時30分までに、本校の指定する場所（当日、学生課前に掲示

する予定)に集合してください。

なお、14時以降の遅刻者は、受検を認めません。

5. 選抜結果の発表

令和2年10月9日(金) 10時

合格者の受検番号を本校内に掲示するとともに、全受検者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。

(電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じない。)

6. 入学確認書の提出

合格通知書を受けた者は、令和2年10月16日(金)17時までに「入学確認書」を学生課教務係へ提出してください。

III. 受検上又は修学上特別な配慮を必要とする場合

本校に出願予定の身体に障がいを有する志願者で、受検上又は修学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち事前にご相談ください。

事前相談は、それぞれの障がいの種類に応じた特別措置の対応上、出願受付開始日1週間前までに学生課教務係へご連絡ください。

IV. 入学手続

合格者は、令和3年3月18日(木) 10時に出校し、入学に要する諸手続きを行ってください。

なお、当日入学手続を行わない者は、入学を許可しません。

V. その他の注意事項

- 1 入学願書提出後に、住所(郵便受取先)を変更したときは、直ちに、本校学生課教務係に届け出てください。
- 2 選抜当日「受検票」を必ず携行してください。
- 3 受検のための宿舎は斡旋しないので、各自で手配してください。

VI. 個人情報の取扱い

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の業務として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- 1 入学後の教育・指導
- 2 入学料、授業料の免除申請の審査
- 3 奨学金申請の審査
- 4 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

久留米工業高等専門学校専攻科 入 学 案 内

1. 専攻科の目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授し、もって、広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的とします。

2. 設 置

平成 5 年 4 月

3. 専 攻 名

機械・電気システム工学専攻
物質工学専攻

4. 修業年限及び修了条件

- (1) 修業年限 2 年
- (2) 修了条件 学則に従い63単位以上修得

5. 専攻科の教育目的

次のような実践的、創造的技術者を育成する。

- (1) 先端技術及び高度情報化に対応できる技術者
- (2) 創造的研究開発能力を持った技術者
- (3) 国際化に対応できる技術者

6. 教 育 課 程

専攻科の単位を修得し修了するには、機械・電気システム工学専攻及び物質工学専攻の各系（以下「コース」という。）のいずれかを履修しなければなりません。機械・電気システム工学専攻及び物質工学専攻で履修するコースは以下のとおりです。

機械・電気システム工学専攻：機械工学コース、電気電子工学コース、制御情報工学コース

物質工学専攻：生物応用化学コース、材料工学コース

掲載する授業科目は、令和 2 年度の教育課程であり、今後、一部変更する場合があります。これらの履修するコースで所定の単位を修得して専攻科を修了すれば、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位が授与されます。

また、これらのコースはJABEE(Japan Accreditation Board for Engineering Education)教育プログラムに対応しています。

(1) 一般科目及び専門基礎科目（各専攻共通）

授業科目			授業形態	単位数	学期別配当		備考
					1年次	2年次	
一般科目	必修	実践英語 I	講義	2	2		
		実践英語 II	講義	2	2		
		実践英語 III	講義	2		2	
	一般科目必修単位計			6	4	2	
	選択	日本語コミュニケーション	講義	2		2	2 単位以上修得
		生涯スポーツ特論	講義	2		2	
		産業財産権特論	講義	2	2		4 単位以内
		専攻科特論一般 I	講義 又は 演習	2	2		
		専攻科特論一般 II	講義 又は 演習	2		2	
	一般科目選択開設単位計			10	4	6	
専門基礎科目	必修	地球環境と現代生物学	講義	2	2		
		現代物理学	講義	2	2		
		応用情報処理演習	演習	2	2		
		専門基礎科目必修単位小計		6	6	0	
	選択	応用数理 I	講義	2	2		10 単位以上修得
		応用数理 II	講義	2	2		
		応用数理 III	講義	2		2	
		量子力学	講義	2	2		
		物性化学	講義	2	2		
		画像工学	講義	2	2		4 単位以内
		応用情報処理	講義	2	2		
		統計力学及び熱力学	講義	2		2	
		専攻科特論専門 I	講義	2		2	
		専攻科特論専門 II	講義	2		2	
	専門基礎科目選択開設単位小計			20	12	8	
	専門基礎科目開設単位計			26	18	8	
一般科目、専門基礎科目開設単位合計				42	26	16	

(2) 専門科目（機械・電気システム工学専攻）

機械工学コース

授業科目		授業形態	単位数	学年別配当		備考
				1年次	2年次	
必修	創造工学実験	実験	2	2		
	技術英語	演習	1		1	
	先端工学特論	演習	1	1		
	専攻科研究基礎	実験	5	5		
	専攻科研究論文	実験	10		10	学修総まとめ科目
	専門科目必修単位小計		19	8	11	
専門科目選択	弾塑性力学	講義	2	2		
	破壊力学	講義	2	2		
	応用流動工学	講義	2	2		
	生産加工学	講義	2		2	
	移動現象論	講義	2	2		
	計算力学	講義	2		2	
	設計システム工学	講義	2	2		
	メカトロニクス工学	講義	2		2	
	システム制御工学	講義	2	2		
	デジタル制御	講義	2	2		
	トライボロジー解析学	講義	2		2	
	機械工学特論	講義	2	2		
	電気電子工学特論	講義	2	2		
	制御情報工学特論	講義	2	2		
	専攻科インターンシップ実習		2	2		
専門科目選択開設単位小計			30	22	8	
専門科目開設単位計			49	30	19	
全開設単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)			91	56	35	
全科目修得単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)			63 単位以上			

※ 機械工学プログラムは、本コースと本科4・5年（一部3年）次の教育課程からなる。

機械工学プログラムの学習・教育到達目標

- (A) 広い視野から技術者倫理を理解し自覚できる。
 - (A-1) 技術者倫理を広い視野から多面的に考えることができる。
 - (A-2) 技術者倫理に対しその責任を理解できる。
 - (A-3) 技術者倫理に対しその責任を自覚できる。
- (B) 数学、物理、情報処理に関する知識を専門分野に応用できる。
 - (B-1) 数学に関する知識とその工学的応用力
 - (B-2) 物理に関する知識とその工学的応用力
 - (B-3) 情報処理に関する知識とその工学的応用力
- (C) 機械工学に関する以下の専門知識を教授し、職業上応用できる基礎能力を学生の進路に配慮し育成する。
 - (C-1) 材料と強度
 - (C-2) 機械設計
 - (C-3) 生産工学
 - (C-4) 熱・流体工学
 - (C-5) 制御・情報技術
- (D) 実験・演習を実施し、その結果を工学的に解析し考察できる。
 - (D-1) 機械工学を学ぶ上で必要な各種の機械や機器の操作ができる。
 - (D-2) 実験・演習の結果を工学的に解析し考察できる。
- (E) 自主的にテーマを企画立案し、創造的かつ継続的に実施できる。
- (F) 種々の工学的知識や技術を利用して、自己学習やグループ学習により社会の要求を解決できる。
- (G) 専門技術に関するプレゼンテーションと国際化に対応できる基礎的なコミュニケーションができる。
 - (G-1) 専門技術に関するプレゼンテーションができる。
 - (G-2) 国際化に対応できる基礎的なコミュニケーションができる。
- (H) 与えられた条件のもとで技術者として地域社会に貢献できる。

電気電子工学コース

授業科目		授業形態	単位数	学年別配当		備考
				1年次	2年次	
必修	創造工学実験	実験	2	2		
	技術英語	演習	1		1	
	先端工学特論	演習	1	1		
	専攻科研究基礎	実験	5	5		
	専攻科研究論文	実験	10		10	学修総まとめ科目
	専門科目必修単位	小計	19	8	11	
専門科目	設計システム工学	講義	2	2		14単位以上修得
	メカトロニクス工学	講義	2		2	
	システム制御工学	講義	2	2		
	デジタル制御	講義	2	2		
	形式言語とオートマトン	講義	2	2		
	コンピュータサイエンス	講義	2		2	
	応用電磁気学	講義	2	2		
	光エレクトロニクス	講義	2		2	
	集積回路工学	講義	2	2		
	デジタル信号処理	講義	2	2		
	プラズマ工学	講義	2		2	
	機械工学特論	集講 中義	2	2		
	電気電子工学特論	集講 中義	2	2		
	制御情報工学特論	集講 中義	2	2		
	専攻科インターンシップ	実習	2	2		
専門科目選択開設単位		小計	30	22	8	
専門科目開設単位		計	49	30	19	
全開設単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)			91	56	35	
全科目修得単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)			63単位以上			

※ 電気電子工学プログラムは、本コースと本科4・5年（一部3年）次の教育課程からなる。

電気電子工学プログラムの学習・教育到達目標

- (A) 先端の電気エネルギーをマネージメントできる電気電子技術の習得
 - (A-1) 電気エネルギーの発生やその制御のしくみを理解し説明できる。
 - (A-2) 電気エネルギーに関する専門的知識、技術を設計に応用できる。
- (B) 先端の情報通信・電子機器を活用できる電気電子技術の習得
 - (B-1) ICT電子機器のしくみを理解し説明できる。
 - (B-2) ICT電子機器に関する知識、技術を設計に応用できる。
- (C) もの、製品をベースにした技術実務能力の習得
 - (C-1) 電力、電気、電子機器に関する実験を計画、遂行できる。
 - (C-2) 実験データを解析、考察し説明できる。
 - (C-3) 共同で実験・演習を遂行できる。
- (D) 電気電子技術の基礎となる学力の修得
 - (D-1) 数学、物理などの自然科学や情報技術に関する基礎事項を説明できる。
 - (D-2) 自然科学や情報技術に関する基礎事項を電気電子技術の専門領域で適用できる。
- (E) 技術に関するコミュニケーション能力の育成
 - (E-1) わかりやすく論理的に情報や意見を文書や口頭で伝達できる。
 - (E-2) 英語により電気電子技術に関する基本的なコミュニケーションができる。
- (F) 技術者倫理感覚の育成
 - (F-1) 技術が地域社会や国際社会あるいは自然環境に及ぼす影響、効果を理解できる。
 - (F-2) 規格、品質、安全性等に関する技術者の責任を説明できる。
- (G) 企画・管理能力の育成
 - (G-1) 産業や社会との連携活動や実験・実習の中から技術的な課題を見出すことができる。
 - (G-2) 技術的な課題を解決するための計画を立案し遂行できる。

制御情報工学コース

授業科目		授業形態	単位数	学年別配当		備考
				1年次	2年次	
必修	創造工学実験	実験	2	2		
	技術英語	演習	1		1	
	先端工学特論	演習	1	1		
	専攻科研究基礎	実験	5	5		
	専攻科研究論文	実験	10		10	学修総まとめ科目
	専門科目必修単位	小計	19	8	11	
専門科目選択	計算力学	講義	2		2	14単位以上修得
	メカトロニクス工学	講義	2		2	
	システム制御工学	講義	2	2		
	デジタル制御	講義	2	2		
	コンピュータグラフィックス	講義	2		2	
	パターン認識	講義	2		2	
	形式言語とオートマトン	講義	2	2		
	データベース	講義	2	2		
	コンピュータサイエンス	講義	2		2	
	応用電磁気学	講義	2	2		
	デジタル信号処理	講義	2	2		
	機械工学特論	集講 中義	2	2		
	電気電子工学特論	集講 中義	2	2		
	制御情報工学特論	集講 中義	2	2		
	専攻科インターンシップ	実習	2	2		
専門科目選択開設単位		小計	30	20	10	
専門科目開設単位		計	49	28	21	
全開設単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)			91	54	37	
全科目修得単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)			63単位以上			

※ 制御情報工学プログラムは、本コースと本科4・5年次の教育課程からなる。

制御情報工学プログラムの学習・教育到達目標

- (A) 技術者としての広い視野と倫理観
 - (A-1) 豊かな心を持ち、広い視野で物事を捉えることができる。
 - (A-2) 技術者としての倫理観を持ち、技術が社会、自然環境に及ぼす効果や影響を理解できる。
- (B) 基礎工学の知識と応用力
 - (B-1) 数学、自然科学、情報に関する知識を持ち、基礎的な工学問題の解決に応用できる。
 - (B-2) 制御、情報工学専門周辺の基礎工学に関する知識を持ち、基礎的な工学問題の解決に活用できる。
- (C) 専門工学の知識と応用力
 - (C-1) 制御、情報およびこれらに関連した機械、電気電子分野の専門知識を持ち、工学問題の解決に応用できる。
 - (C-2) 各専門分野の知識、技術を複合的に関連づけることができる。
 - (C-3) 上記の分野の基礎的な知識・技術をもとに実験し、分析、考察することができる。
- (D) デザイン力
 - 学んだ知識や技術をベースにして社会の要求に対する解決法を立案し、実現までの手順を計画することができる。
- (E) コミュニケーション力
 - (E-1) 日本語での自己的考え方や知識を的確に表現し、議論することができる。
 - (E-2) 英語による基礎的なコミュニケーションができる。
- (F) 実践力
 - (F-1) 他者と協力して課題に取り組むことができる。
 - (F-2) 自ら学んで、必要な知識や情報を獲得し、継続的に学習できる。
 - (F-3) 与えられた課題に対して、計画的に作業を進め、期限内にまとめることができる。

(3) 専門科目（物質工学専攻）

生物応用化学コース

授業科目		授業形態	単位数	学年別配当		備考
				1年次	2年次	
必修	創造工学実験	実験	2	2		
	技術英語	演習	1		1	
	先端工学特論	演習	1	1		
	専攻科研究基礎	実験	5	5		
	専攻科研究論文	実験	10		10	学修総まとめ科目
	専門科目必修単位小計		19	8	11	
専門科目選択	有機反応化学	講義	2	2		14単位以上修得
	有機構造化学	講義	2		2	
	生体機能分子学	講義	2	2		
	生体物質化学	講義	2	2		
	化学工学特論	講義	2		2	
	機能有機材料特論	講義	2	2		
	分子生物学	講義	2		2	
	分子機能化学	講義	2		2	
	高分子材料特論	講義	2	2		
	応用物理化学	講義	2		2	
	機能性無機材料学	講義	2	2		
	生物応用化学特論	集講義	2	2		
	材料工学特論	集講義	2	2		
	専攻科インターネット	実習	2	2		
専門科目選択開設単位小計			28	18	10	
専門科目開設単位計			47	26	21	
全開設単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)			89	52	37	
全科目修得単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)			63単位以上			

※ 生物応用化学プログラムは、本コースと本科4・5年次の教育課程からなる。

生物応用化学プログラムの学習・教育到達目標

(A) 技術者倫理と多面的視野

(A-1) 技術者として必要な倫理観を身に付け、管理能力、社会に対する説明責任能力を習得する。

(A-2) 地球的規模で環境を考え技術をデザインする能力を習得する。

(B) 生物応用化学基礎と工学基礎

(B-1) 生物および化学に関する基礎知識を習得する。

(B-2) 物理、数学および情報技術を工学に応用できる。

(C) 生物応用化学の専門知識と応用力

(C-1) 生物化学もしくは応用化学に必要な専門知識および両分野に共通して必要な専門知識を習得し、それらを当該工業分野に応用することができる。

(C-2) 生物化学もしくは応用化学に必要な実験技術および両分野に共通して必要な実験技術を体得し、それらを種々の問題解決に応用することができる。

(D) 生物応用化学基礎、工学基礎、生物応用化学の専門知識を活用し、社会の要求を解決するための企画力を持っている。

(E) 国際化に対応できるコミュニケーション基礎能力を習得する。

(F) 自主的にテーマを企画立案し、創造的かつ継続的に実施することができる。

(G) 地域社会を中心とした産業界に技術者として広く貢献できる。

材料工学コース

授業科目		授業形態	単位数	学年別配当		備考
				1年次	2年次	
必修	創造工学実験	実験	2	2		
	技術英語	演習	1		1	
	先端工学特論	演習	1	1		
	専攻科研究基礎	実験	5	5		
	専攻科研究論文	実験	10		10	学修総まとめ科目
	専門科目必修単位	小計	19	8	11	
専門科目選択	分子機能化学	講義	2		2	14単位以上修得
	高分子材料特論	講義	2	2		
	応用物理化学	講義	2		2	
	機能性無機材料学	講義	2	2		
	半導体材料	講義	2	2		
	材料組織制御	講義	2		2	
	構造材料学	講義	2	2		
	触媒材料化学	講義	2	2		
	材料強度学	講義	2	2		
	表面処理工学	講義	2	2		
	高温強度学	講義	2		2	
	生物応用化学特論	講義	2	2		
	材料工学特論	講義	2	2		
	専攻科インターンシップ	実習	2	2		
	専門科目選択開設単位	小計	28	20	8	
専門科目開設単位		計	47	28	19	
全開設単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)			89	54	35	
全科目修得単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)			63単位以上			

※ 材料工学プログラムは、本コースと本科4・5年次の教育課程からなる。

材料工学プログラムの学習・教育到達目標

- (A) 自然科学および情報処理技術に関する知識
 - (A-1) 数学、物理、化学などの自然科学に関する基礎知識を持ちその応用ができる。
 - (A-2) 情報処理に関する知識や技術を専門分野に適応できる。
- (B) 材料に関する基本的知識と応用力
 - (B-1) 材料、特に金属およびセラミックス材料の物性、構造、性質についての基礎知識を身に付けている。
 - (B-2) 材料、特に金属およびセラミックス材料の製造プロセスについての基礎知識を身に付けている。
 - (B-3) これらの知識を工学問題の解決に活用できる。
- (C) 工学的基礎原理・現象の理解能力
 - (C-1) 工学的な基礎原理・現象を実験によって理解できる。
- (D) 調査および実行能力
 - (D-1) 課題に対して自主的に調査できる。
 - (D-2) 計画性を持って物事に取組み、実行できる。
 - (D-3) 課題の結果を間違いの少ない文章および口頭で表現し、討論できる。
- (E) 異文化理解とコミュニケーション能力
 - (E-1) 英語により材料工学に関する基本的コミュニケーションができる。
- (F) 多面的視野と技術者倫理
 - (F-1) 技術の人間社会や自然環境への関わりを理解し、グローバルに物事を考えることができる。
 - (F-2) 技術者の社会的責任を自覚することができる。
- (G) 地域産業での実務経験
 - (G-1) インターンシップなどの実務経験を通して、多面的に物事を考えることができる。

7. 「学士」の学位取得

本校専攻科は、平成26年度入学生から学士の学位授与に係る特例の適用認定を受けた認定専攻科であるため、専攻科修了と所定の手続きにより、修了時に学士の学位を取得することができます。

ただし、この特例の適用は、本校準学士課程を平成25年度以降に卒業し、本校専攻科を修了することを前提としているため、それ以外の場合は取得手続きが異なる可能性があります。

8. JABEE^(注)教育プログラム履修について

久留米工業高等専門学校には、平成27年度に継続認定されたJABEE教育プログラムとして、機械工学プログラム、電気電子工学プログラム、制御情報工学プログラム、生物応用化学プログラム、材料工学プログラムの五つの教育プログラムがあります。各教育プログラムは、高専4・5年（一部3年）次及び専攻科1・2年次の教育課程から構成されています。本校専攻科の機械・電気システム工学専攻には、機械工学コース、電気電子工学コース及び制御情報工学コースがあり、物質工学専攻には、生物応用化学コース及び材料工学コースがあり、それぞれ上記のJABEEプログラムに対応しています。

専攻科入学後、学生の出身学科や希望を考慮して、必ず何れかのコースに履修登録することになりますが、出身学科と同一名のコースがある場合、そのコースの履修を勧めます。

各コースを履修する学生は、原則として、募集要項の該当する選抜方法の出願資格のほか、下記の基準を満たしておくことが必要です。

- (1) 高等専門学校4・5年次の教育課程、工業短期大学等の教育機関に2年間以上在学し、59単位以上の科目を修得していること。
- (2) 人文科学、社会科学、語学等に関する科目（体育実技を除く。）を4単位以上修得していること。
- (3) 数学・自然科学・情報技術等に関する科目を3単位以上修得していること。
- (4) 専門分野の科目の単位を本校該当学科4・5年次の教育課程と同程度修得していること。
- (5) 専門分野に関する実験を2単位以上修得していること。

本校卒業者ではない学生及び本校卒業生であっても出身学科と違う専門コースを履修希望する学生に対しては、入学後にJABEE教育プログラムの基準を満たすことができるかどうか、各教育プログラム責任者のもとで審議します。その結果、不足科目、不足単位数がある学生に対して、これらを明らかにし、履修基準を満たすように指導します。ただし、単位の取得状況によっては希望する専門コースの履修が不可能な場合もあります。詳細はお問い合わせください。

また、本校WWWページ (<http://www.kurume-nct.ac.jp>) をご参照ください。

(注) 日本技術者認定機構のことで、Japan Accreditation Board for Engineering Educationの略称、WWWページ (<http://www.jabee.org/>) 参照

※ JABEE教育プログラムについては、今後、申請しない場合があります。

9. 入学時に要する経費

費　　目	金　　額	摘　　要
入　　学　　料	84,600円	(予定額)
授　　業　　料	117,300円	(年額234,600円) (予定額)
教　科　書　代　等	約 30,000円	
その　他　校　納　金	約 33,000円	
合　　計	約 264,900円	

※ 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

10. 入学料及び授業料免除制度

- (1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合には、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することができます。
- (2) 授業料の各期の納付期限前6月以内（新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において、学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等は、選考の上、授業料の全額又は半額を免除することができます。

11. 独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構法の規定に基づき、人物・学業ともに優れ、かつ、健康であって経済的理由により修学に困難があると認められる者に対して、選考の上、奨学金が貸与されます。貸与月額は（令和2年度入学生の場合）、次のとおりです。

貸　与　月　額

- (1) 第一種奨学金（無利息貸与）

区　　分	1　　年
自　　宅　　宅	45,000円又は30,000円
自　　宅　　外	51,000円又は30,000円

- (2) 第二種奨学金（利息付貸与）

30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円の中から選択することができます。

12. 高等教育の修学支援制度

令和2年4月1日から、高専の4・5年生及び専攻科生が対象となる授業料等減免制度の新設及び給付型奨学金の支給拡充が実施されています。詳細については、文部科学省ホームページ「高等教育段階の教育費負担軽減」を参照願います。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

13. 学生寮

本校敷地内に寄宿舎があります。

男子寮（4階建）は、1室1名用、2名用と3名用あわせて141室、収容定員は210名です。また、女子寮（3階建）は、1室1名用と2名用あわせて22室、収容定員30名です。ただし、専攻科生は原則として1名部屋となります。

入寮希望者は、選考の上、許可します。

費 用	月 額	摘 要
寄 宿 料	800円 700円	1名部屋 1名部屋以外
給 食 費	約 30,000円	朝・昼・夕食付
光 熱 水 料 費 等	8,000円	エアコンのリース代を含む。
合 計	約 38,800円	

※ 上記のほか、入寮時に入寮費1,000円が必要です。

※ 上記の納付金額は、入寮時及び在寮中に改定される場合があります。

令和3年度 久留米工業高等専門学校

専攻科入学願書

志望専攻名	工学専攻			受検番号	※
選抜の区分	1 推薦による選抜	2 学力による選抜	3 企業等の推薦による選抜		
学力検査専門科目の出題分野		(学力選抜を志望する者は、受検する系を必ず記入してください。)			TOEICスコア
					系
志願者	ふりがな		男・女	生年月日	平成 年 月 日 生
	氏名				
	現住所	〒	電話番号 — —		
	在籍 又は 卒業学校	所在地 〒	学校 学科 (年 月 卒業・卒業見込)		
			電話番号 — —		
	卒業後の 学歴及び 職歴	自 至 年 月 日			
		自 至 年 月 日			
		自 至 年 月 日			
選抜結果 通知書等 受信場所	〒	電話番号 — —			

記入上の注意

- ※印の欄は記入しないこと。その他の欄は志願者が洩れなく記入してください。
- 正確に楷書で青または黒インク、黒ボールペンで記入してください。
- 「選抜の区分」の欄は、受検する選抜区分の番号を○で囲んでください。
- 「学力検査専門科目の出題分野」の欄は、学力選抜を志願する者のみ、P.7及びP.10の出題分野等から選択して記入してください。(推薦選抜及び企業等の推薦による社会人選抜の受検生は不要)また、受検票と照合票も同様に受検する専門科目の出題分野を記入してください。
- 推薦による選抜、学力による選抜とともに、TOEICスコアを必ず記入してください。
- TOEICスコア及びその取得時期を証明する「公式認定証」又は「個人成績表」の写しを添付してください。

照合票

令和3年度 専攻科

受検番号	※
志望専攻名	工学専攻
ふりがな	
氏名	
生年月日	平成 年 月 日
学力検査専門科目の出題分野	系

写真

縦 4cm

横 3cm

上半身脱帽正面向きで
出願以前3か月以内に
撮影したものを貼付。

※「学力検査専門科目の出題分野」の欄は、
入学願書に記入した出題分野を記入してく
ださい。(推薦選抜及び企業等の推薦による
社会人選抜の受検生は不要)

※印の欄は記入しないでください。

受検票

令和3年度 専攻科

受検番号	※
志望専攻名	工学専攻
ふりがな	
氏名	
学力検査専門科目の出題分野	系

[試験日時]

推薦選抜 7月18日(土)14時から
学力選抜(前期) 7月18日(土)9時10分から
学力選抜(後期) 10月3日(土)9時10分から
社会人選抜 10月3日(土)14時から

※集合時間、場所については、各選抜試験の頁
で確認してください。

※携帯電話等は、検査室へは持ち込めません。

※「学力検査専門科目の出題分野」の欄は、
入学願書に記入した出題分野を記入して
ください。(推薦選抜及び企業等の推薦による
社会人選抜の受検生は不要)

※印の欄は記入しないでください。

入学検定料「振込受付証明書」提出票

受検番号	※
------	---

氏名	
----	--

本校指定の振込依頼書を使用し、銀行
受付印のある振込受付証明書(学校提出用)は、裏面全体にのりをつけて貼
付してください。また、郵便局(ゆう
ちょ銀行)の振込依頼書を使用した場
合は、振替払出請求書預金口座振替に
よる振込受付書(コピー可)を二つ折り
等にし、枠内に貼付してください。

※印の欄は記入しないでください。

切りはないでください

受検上の注意

- 1 試験当日は、必ず受検票を携帯してください。
- 2 TOEICスコア確認のため、「公式認定証」又は「個人成績表」の原本を持参してください。なお、TOEICスコアは選抜期日から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。
- 3 学力による選抜において、遅刻による検査室への入室限度時刻は、検査開始後30分です。なお、交通機関の事故又は止むを得ない事由により、検査開始後30分以上遅刻した者は、必ず検査場の本部へ申し出てください。
- 4 携帯電話等は、検査室へは持ち込めません。

令和3年度 専攻科入学志願者
調査書

		志望専攻名	工学専攻			受検番号	※	
ふりがな	氏名		学 校 ・ 学 科 名	国 立 ・ 公 立 ・ 私 立	学校 学科			
生年月日	平成 年 月 日生		年 月 入学・編入学・転入学					
性 別	男 ・ 女		年 月 卒業・卒業見込み					
成績 証明書	在籍又は卒業学校所定の用紙を使用し、当該校長が作成したもの同封の上、厳封してください。 (成績の評定基準を右表に明示する。)		評定基準	評定の区分	点数の範囲			
					点～点			
					点～点			
					点～点			
					点～点			
					点以下			
在学中	学業	学科内席次	3年	人中	位	平均点	3年	点
			4年	人中	位		4年	点
			5年	人中	位		5年	点
の状況	人物							
		課外活動						
所見	生活態度等	学 年		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年
		欠席日数						
		休 学	～ (理由：)					
上記のとおり相違ないことを証明する。 令和 年 月 日 学 校 名 学校長名								
印								

(注) 裏面の記入上の注意をよく読んで記入してください。

【記入上の注意】

1. ※印欄は記入しないでください。
2. 卒業見込者の成績証明書には、最終学年で履修する科目は評定欄に○印で明示してください。
3. 平均点は小数点以下第1位を四捨五入してください。

受検番号	※
------	---

令和 3 年度 専攻科入学志願者

推 薦 書

令和 年 月 日

久留米工業高等専門学校長 殿

学 校 名

学校長又は学科長名

印

下記の者は、工学専攻への入学が適当と認められるので推薦いたします。

記

氏 名

生年月日 平成 年 月 日 生

学 科 名

志 对 望 て 専 の 攻 適 に 性	
専 動 攻 機 を 志 ・ 望 理 す る 由	
そ 参 考 の 事 他 項	

令和3年度 久留米工業高等専門学校専攻科入学志願者

志 望 調 書

志 望 専攻名	工学専攻	氏 名	受検 番号	※
1. 志望の動機				
<hr/>				
2. 将来の目標（専攻科修了後の希望）				
<hr/>				
3. 卒業研究				
研 究 題 目				
研究の概要				
<hr/>				

※	
<hr/> <hr/> <hr/>	

※の欄は記入しないでください。

受検番号	※
------	---

令和3年度 専攻科入学志願者

推薦書

(企業等所属者)

令和 年 月 日

久留米工業高等専門学校長 殿

(勤務先・所属長 印)

下記の者は、工学専攻への入学が適当と認められるので推薦いたします。

記

氏名

生年月日 平成 年 月 日生

所属

人物	
勤務態度	
志望する専攻適性	
専攻を志す理由	
その他の参考事項	

受検番号

※

令和3年度 専攻科入学志願者

出願承認書

令和 年 月 日

久留米工業高等専門学校長 殿

(勤務先・所属長 印)

下記の者が、貴校の専攻科入学者選抜に出願することを承認いたします。

記

出願者氏名

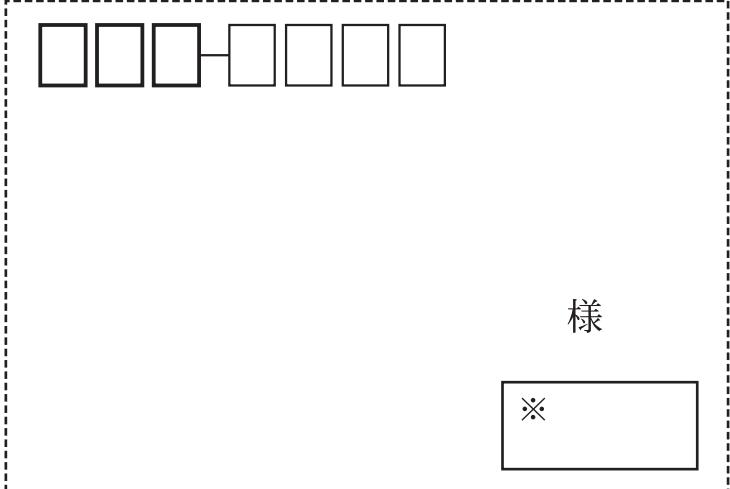
生年月日 平成 年 月 日生

所 属

あて名票

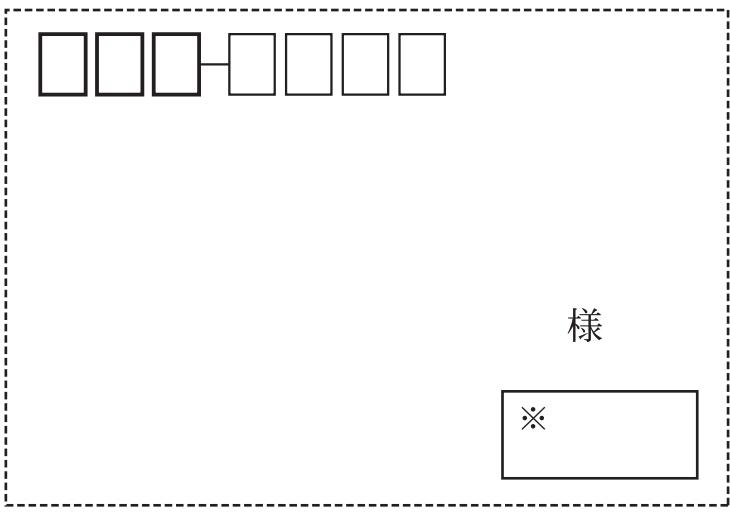
選抜結果通知用

(志願者の住所・氏名)



入学手続書類送付用

(志願者の住所・氏名)



- このあて名票は、それぞれのあて先となるので、番地まで楷書で正確に記入してください。
 - 団地などに住んでいる場合は、○○団地○○号棟○○番と明記してください。
 - 必ず2枚とも記入してください。
 - ※印欄は、記入しないでください。
 - 「様」は、そのままで修正などはしないでください。

入学検定料の振込について

令和3年度久留米工業高等専門学校入学者選抜の検定料については、郵便局（ゆうちょ銀行）以外の銀行から振込を行う場合は、添付の本校指定の振込依頼書をご利用ください。また、郵便局（ゆうちょ銀行）から振込を行う場合は、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」をご使用ください。

なお、振込の際には別途手数料が必要となりますのでご容赦願います。

1. 検定料の振込は金融機関窓口にてお願いします。
2. 金融機関の収納印をもつて本校の受領証書に代えさせて頂きます。
3. 振込の手続きは出願に必要な書類等を持参又は郵送する前に必ず行つてください。
4. 振込金額は、必要により確認することができますので、大切に保管してください。
5. 本校指定の振込受付証明書（学校提出用）又は郵便局（ゆうちょ銀行）の振替払出請求書預金口座振替による振替受付書（コピー可）は、別添の入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。
6. 金融機関によっては、窓口営業時間が異なりますので十分にご注意ください。
7. 受取人口座名の「高専機構本部」は略称であり、郵便局（ゆうちょ銀行）から振込を行う場合は、「独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役」と記入願います。

試験日	振込期間
7月18日	令和2年6月22日（月）
（土）	令和2年7月2日（木）
10月3日	令和2年9月9日（水）
（土）	令和2年9月23日（水）

振込受付証明書（学校提出用）

依頼日	年	月	日	金額	¥ 16,500 –
振込先	福岡銀行	久留米営業部		受取人	高専機構本部
志願者名				志願者名	（フリガナ）
氏				住所	〒
				ご依頼人	
				取納印	
				銀行印	
				支店	

上記の金額正に
受取りました。
(取扱店) 銀行 支店

振込金領収証書（本人保存）

依頼日	年	月	日	金額	¥ 16,500 –
振込先	福岡銀行	久留米営業部		受取人	高専機構本部
志願者名				志願者名	（フリガナ）
氏				住所	〒
				ご依頼人	
				取納印	
				銀行印	
				支店	

（銀行で切り離してください）

上記の金額正に
受取りました。
(取扱店) 銀行 支店

電信扱

依頼日	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	金額	¥ 16,500 –
受取銀	福岡銀行	久留米営業部		普通	2638356		現金内	
振込先				受取人	コウセンキコウホンブ		当手	
				口座名	高専機構本部		訳他手	
				志願者名	（フリガナ）			
				住所	〒			
				ご依頼人				
				取納印				
				銀行印				
				支店				

志願者氏名を必ず打電してください。

（銀行で切り離してください）

〔参考〕久留米工業高等専門学校検査場位置図

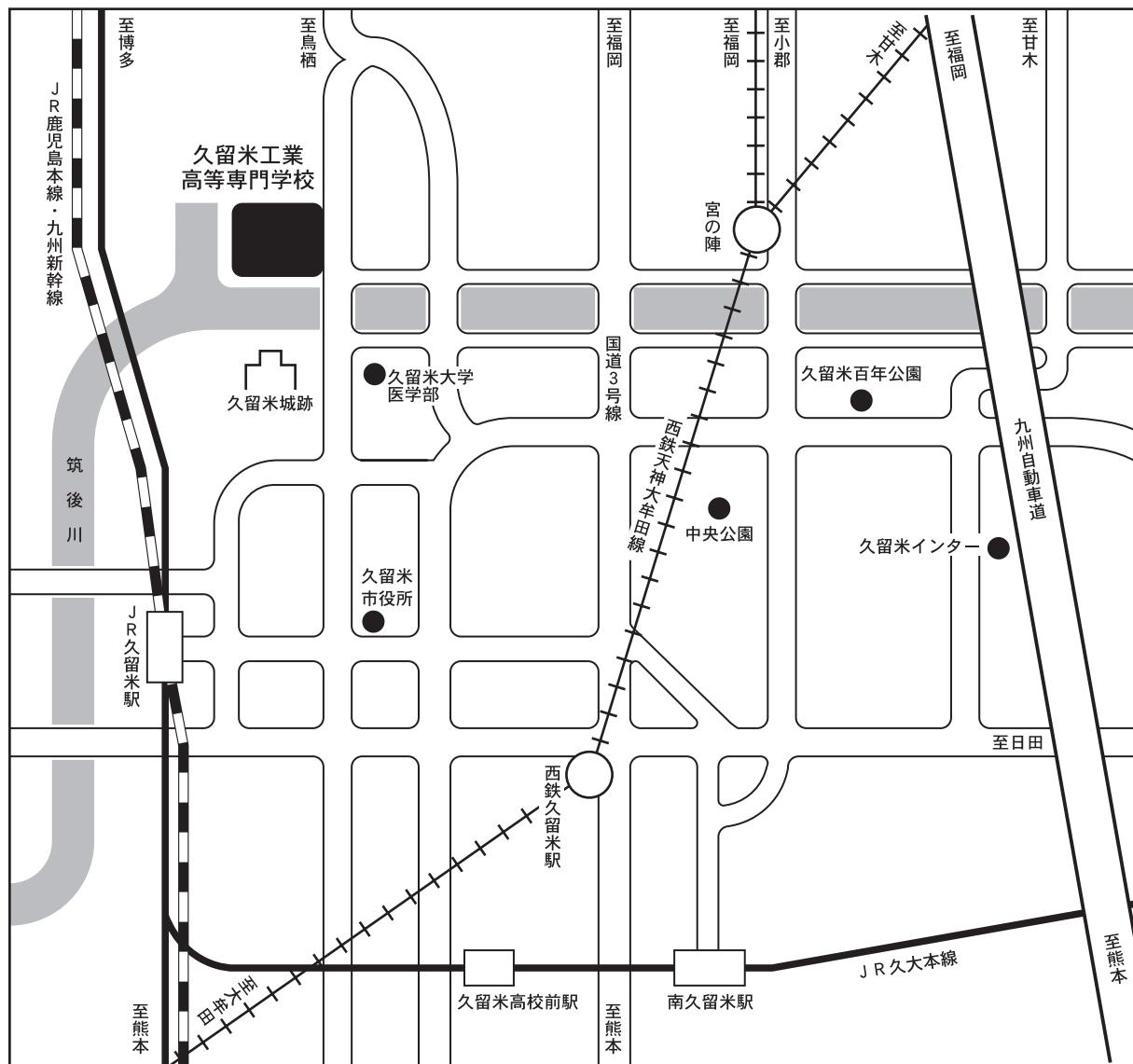
【本校への経路】

○ J R 鹿児島本線・九州新幹線を利用した場合

- (1) J R 久留米駅下車 西鉄バス 1番のりば 18番系統「高専前」行き乗車 所要時間 約15分
タクシー利用 所要時間 約10分 (距離 約 2.5 km)

○ 西鉄天神大牟田線を利用した場合

- (1) 西鉄久留米駅下車 西鉄バス 4番のりば 8番系統「高専前」行き乗車 所要時間 約30分
タクシー利用 所要時間 約15分 (距離 約 4.5 km)
- (2) 西鉄宮の陣駅下車 タクシー利用 所要時間 約 7 分 (距離 約 2 km)



受検に関する問い合わせ先

久留米工業高等専門学校 学生課 教務係

住 所 〒830-8555
福岡県久留米市小森野一丁目1番1号

電 話 0942-35-9463 (学生課直通)
0942-35-9316

FAX 0942-35-9319

<http://www.kurume-nct.ac.jp/>